

## 第84回 教育研究評議会（臨時）議事要旨

日 時 平成21年9月25日（金） 15:30～16:16  
場 所 事務局第3会議室（4階）

議題1．教育研究評議会における学長候補適任者の推薦について（資料1～資料3）  
（参考資料1～参考資料7）

その他

[出席評議員] 26名

吉田学長

（理事）石田、島、中山、前田

（学部長等）木部、石川、河原、内田、清原、宮嶋、榮鶴、吉田、植村、福井、住吉、岩元、越塩、高松、  
采女、安部、菅沼、井上、中河、門

（事務局長）盛本

[欠席評議員] 4名

（学部長等）長岡、岡、野呂、松山

[オブザーバー]

坂東監事

[事務局]

（部長）丸山

（課長）鶴飼

（その他）今村

議事に先立ち、9月18日開催の第5回意向調査等実施委員会について中島委員長から、同日実施した学内意向調査の投票結果を資料1のとおり確認したこと、下荒田地区（農水学系）での投票において、通知発出日（9月1日）において海外渡航中のため、名簿から除外された者1名が、帰学後に登載の申し出を行わないまま投票したため、この取扱いについては過去の同様のケースに準じ、投票資格者とは認めないが、開票の結果を見て、態勢に影響を及ぼさないことが確認されれば、その旨を付記して開票結果とすること、また、このようなミスが今後発生しないよう十分に注意するよう次回へ申し送ることとした旨の報告があった。

なお、開票の結果、態勢に影響を及ぼさないことが確認されたため、農水学系の投票総数には投票資格者から除外された者が投じた1票が含まれている旨を付記して開票結果とすることが確認された旨併せて報告があった。

## 議題 1 . 教育研究評議会における学長候補適任者の推薦について (資料 1 ~ 資料 3 )

(参考資料 1 ~ 参考資料 7 )

議長から、教育研究評議会における学長候補適任者の推薦について諮られ、初めに教育研究評議会から学長選考会議へ推薦する学長候補適任者は 3 名とすること、また当該本人へ学長選考規則の定める書面 (略歴書、承諾書、所信表明書) の提出を依頼し、当該書面の提出のあった者を学長選考会議へ推薦すること、この場合 3 名に達しない場合は、当該書面提出者をもって学長選考会議への推薦とすることが了承された。

引き続き、教育研究評議会評議員から選出された学長選考会議委員が学長候補適任者となった場合は、学長選考会議委員を辞任しなければならないことから、学長選考会議からの要請に基づき、次回の教育研究評議会 (10 月 15 日開催) で後任の委員を選出することが確認された。

次に学長から、「教育研究評議会における学長候補適任者の推薦に係る申合せ」(以下「推薦に係る申合せ」という。)により、学長候補適任者第 2 次の絞込みのための教育研究評議会の審議にあたっては、教育研究評議会の議長である学長が第 2 次候補適任者の場合は、評議員の選挙により第 2 次学長候補適任者ではない評議員の中から議長を選出することとなっている旨の説明の後、投票が行われ、住吉評議員及び岩元評議員の立ち合いによる開票の結果、中山評議員が議長に選出された。

議長が学長から中山評議員に交代し、学長は評議員席に着席した。議長から、第 2 次学長候補適任者は 3 名である旨の説明の後、学長候補適任者第 2 次の絞込みについて諮られ、「推薦に係る申合せ」に基づき、評議員による 3 名連記の無記名投票によることとなり、投票が行われ、住吉評議員及び岩元評議員の立ち合いによる開票の結果、平井一臣氏、福井泰好氏、吉田浩己氏の 3 氏 (3 氏同数) が学長候補適任者に選出された。

学長候補適任者が決定したことに伴い、議長が学長に交代し、学長から今後の手続について資料に基づき説明があり、各学長候補適任者へは資料 2 により 10 月 1 日を承諾書等の提出期限として依頼すること、学長選考会議議長へは資料 3 により 10 月 2 日に推薦すること及びその後同日付で学内教職員へ周知することが了承された。

次回の教育研究評議会は、平成 21 年 10 月 15 日 (木) 13 : 30 から開催することとなった。